

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	約 9 年10カ月間（2018年11月16日～2028年 9 月15日）	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主 要 投資対象	為 替 ヘ ッ ジ 有 り	イ. ケイマン籍の外国投資信託「グローバル・マルチ・ストラテジー・ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	為 替 ヘ ッ ジ な し	イ. ケイマン籍の外国投資信託「グローバル・マルチ・ストラテジー・ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネー・マザーファンド	本邦通貨表示の公社債
投資制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	隔月分配型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。
	資産成長型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

NWQグローバル厳選証券ファンド
(為替ヘッジあり/隔月分配型) (為替ヘッジなし/隔月分配型)
(為替ヘッジあり/資産成長型) (為替ヘッジなし/資産成長型)
(愛称：選択の達人)

運用報告書 (全体版)

隔月分配型

第 2 期 (決算日 2019年 5 月17日)

第 3 期 (決算日 2019年 7 月17日)

第 4 期 (決算日 2019年 9 月17日)

資産成長型

第 2 期 (決算日 2019年 9 月17日)

(作成対象期間 2019年 3 月19日～2019年 9 月17日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、世界の米ドル建資産に投資を行ない、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目 9 番 1 号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0 1 2 0 - 1 0 6 2 1 2
(営業日の 9 : 00～17 : 00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<3379>
<3380>
<3381>
<3382>

為替ヘッジあり／隔月分配型

設定以来の運用実績

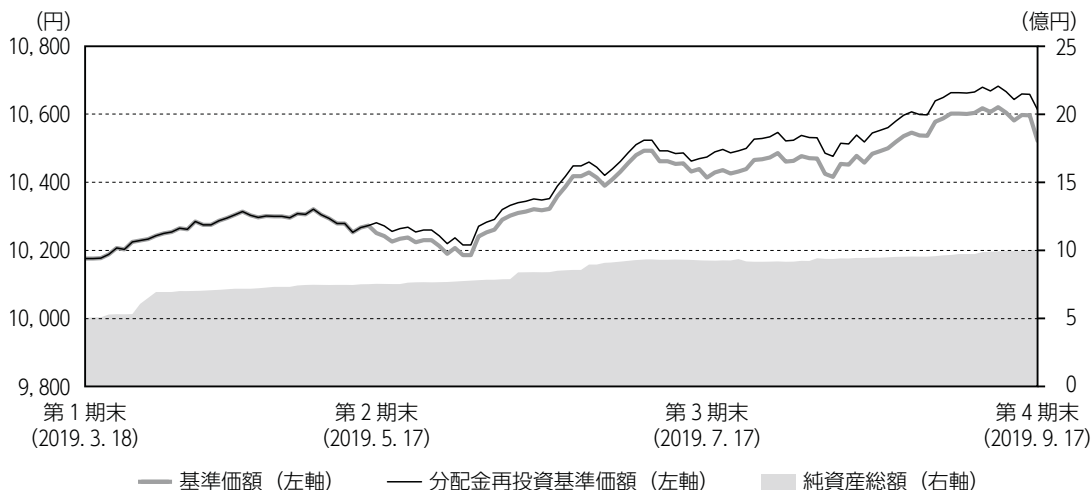
決 算 期	基 準 価 額				公 社 債 組 入 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率	純 資 産 額
	(分 配 落)	税 込 配 金	期 騰 落 率	中 率			
	円	円	%		%	%	百万円
1 期末（2019年 3 月18日）	10, 176	30	2. 1		—	95. 2	503
2 期末（2019年 5 月17日）	10, 251	30	1. 0		—	99. 0	753
3 期末（2019年 7 月17日）	10, 414	30	1. 9		—	99. 5	924
4 期末（2019年 9 月17日）	10, 522	30	1. 3		—	98. 4	1, 004

（注 1）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注 2）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
（注 3）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
（注 4）当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第2期首：10,176円

第4期末：10,522円（既払分配金90円）

騰落率：4.3%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）で保有している投資適格社債などの上昇がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）：グローバル・マルチ・ストラテジー・ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／隔月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 入 率	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
			騰 落 率		
第 2 期		円	%	%	%
	(期 首) 2019年 3 月18日	10, 176	—	—	95. 2
	3 月末	10, 233	0. 6	—	92. 7
	4 月末	10, 306	1. 3	—	98. 9
第 3 期	(期 末) 2019年 5 月17日	10, 281	1. 0	—	99. 0
	(期 首) 2019年 5 月17日	10, 251	—	—	99. 0
	5 月末	10, 207	△ 0. 4	—	99. 2
	6 月末	10, 409	1. 5	—	99. 0
第 4 期	(期 末) 2019年 7 月17日	10, 444	1. 9	—	99. 5
	(期 首) 2019年 7 月17日	10, 414	—	—	99. 5
	7 月末	10, 461	0. 5	—	99. 5
	8 月末	10, 602	1. 8	—	99. 3
	(期 末) 2019年 9 月17日	10, 552	1. 3	—	98. 4

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2019. 3. 19 ～ 2019. 9. 17）

■海外金融市況

海外金融市場では、債券市場、株式市場ともに堅調な展開となりました。

海外株式市場は、当作成期首より、米中貿易摩擦の長期化懸念などから下落基調で始まりまし
た。しかし2019年6月以降は、米国の緩和的な金融政策などを好感して反発しました。また、米国
企業の好調な業績や米中通商協議の進展期待なども支援材料となりました。

海外債券市場は、金利がおおむね低下（債券価格は上昇）しました。米国の製造業を中心とした
景気悪化懸念の強まりにより米国の利下げ継続期待が高まったことなどから、金利は低下基調とな
りました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ
投資します。フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）への投資割合を高位に維持
することを基本とします。

■フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

当ファンドでは、世界の米ドル建資産（株式、債券、優先証券など）に投資を行い、高水準のイン
カムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した
収益の確保をめざします。アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する
証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。景気サイクルが後半期へと移行して
いくことなどを背景に、株式と比較して投資適格社債やハイイールド債券等のクレジット性資産を
強気にみております。引き続き、ボトムアップ分析による厳選した銘柄選定を通じて、投資妙味の
ある銘柄の組み入れに注力してまいります。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

（2019. 3. 19 ～ 2019. 9. 17）

■当ファンド

当ファンドは、フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）への投資割合を高位に維持することをめざしました。

■フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れました。高クーポンが享受できる投資適格社債やハイイールド債券などインカム系資産の組入比率を高位に維持しましたが、一方で株式については、景気サイクルが後半期に突入するなど潜在的なリスクを注視しながら、慎重なスタンスとしました。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、現先取引やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第2期	第3期	第4期
	2019年3月19日 ～2019年5月17日	2019年5月18日 ～2019年7月17日	2019年7月18日 ～2019年9月17日
当期分配金(税込み) (円)	30	30	30
対基準価額比率 (%)	0.29	0.29	0.28
当期の収益 (円)	30	30	30
当期の収益以外 (円)	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	276	424	522

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第2期	第3期	第4期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 41.99円	✓ 44.39円	✓ 44.04円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	42.66	132.98	82.29
(c) 収益調整金	85.12	119.96	150.36
(d) 分配準備積立金	136.47	157.43	275.63
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	306.25	454.77	552.33
(f) 分配金	30.00	30.00	30.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	276.25	424.77	522.33

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資します。フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

当ファンドでは、世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。米国では景気サイクルが後半期に突入したこと、2020年以降のグローバル経済に対する減速懸念が意識されることなどを背景に、投資適格社債やハイイールド債券等のクレジット性資産を強気にみています。引き続き、ボトムアップ分析による厳選した銘柄選定を通じて、投資妙味のある銘柄の組み入れに注力してまいります。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第 2 期～第 4 期 (2019. 3. 19～2019. 9. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	57円	0.553%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は 10,373円です。
（投 信 会 社）	(17)	(0.162)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(39)	(0.378)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 銀 行）	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	58	0.557	

（注 1）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

（注 2）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

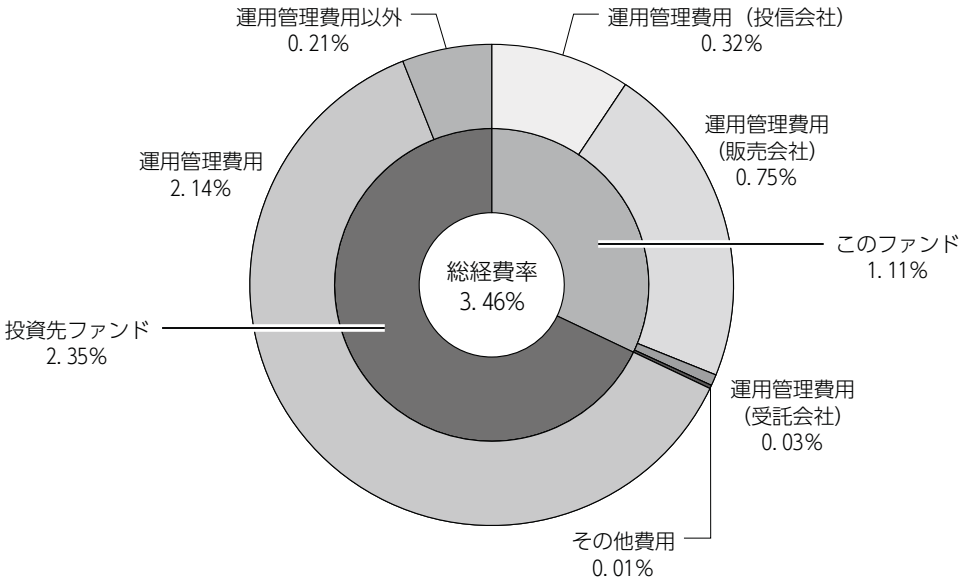
（注 3）各比率は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して 100 を乗じたもので、小数点第 3 位未満を四捨五入してあります。

（注 4）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1 万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は3.46%です。



総経費率（①＋②＋③）	3.46%
①このファンドの費用の比率	1.11%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	2.14%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.21%

(注 1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注 2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
(注 3) 各比率は、年率換算した値です。
(注 4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
(注 5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
(注 6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
(注 7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2019年3月19日から2019年9月17日まで)

決 算 期	第 2 期 ～ 第 4 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	5,151.869197	502,901	202.740599	20,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2019年3月19日から2019年9月17日まで)

第 2 期 ～ 第 4 期							
買 付				売 付			
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY HEDGED DISTRIBUTION CLASS (ケイマン諸島)	5,020.4768	490,000	97	NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY HEDGED DISTRIBUTION CLASS (ケイマン諸島)	202.740599	20,000	98

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	第 4 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY HEDGED DISTRIBUTION CLASS	9,931.526688	988,464	98.4

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 1 期 末	第 4 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	180	180	183

(注) 単位未満は切捨て。

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／隔月分配型）

■投資信託財産の構成

項 目	第 4 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 988,464	% 97.7
ダイワ・マネー・マザーファンド	183	0.0
コール・ローン等、その他	22,635	2.3
投資信託財産総額	1,011,284	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年5月17日)、(2019年7月17日)、(2019年9月17日) 現在

項 目	第 2 期末	第 3 期末	第 4 期末
(A) 資産	765,250,722円	933,930,996円	1,013,284,651円
コール・ローン等	14,902,757	14,189,505	22,635,772
投資信託受益証券（評価額）	746,164,038	919,557,582	988,464,988
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	183,927	183,909	183,891
未収入金	4,000,000	—	2,000,000
(B) 負債	11,463,954	9,520,961	8,681,468
未払金	8,000,000	—	4,000,000
未払収益分配金	2,205,988	2,662,880	2,864,202
未払解約金	—	5,285,030	215
未払信託報酬	1,248,641	1,552,219	1,782,982
その他未払費用	9,325	20,832	34,069
(C) 純資産総額（A－B）	753,786,768	924,410,035	1,004,603,183
元本	735,329,348	887,626,796	954,734,200
次期繰越損益金	18,457,420	36,783,239	49,868,983
(D) 受益権総口数	735,329,348口	887,626,796口	954,734,200口
1万口当り基準価額（C／D）	10,251円	10,414円	10,522円

*第1期末における元本額は495,251,392円、当作成期間（第2期～第4期）中における追加設定元本額は491,281,090円、同解約元本額は31,798,282円です。

*第4期末の計算口数当りの純資産額は10,522円です。

■損益の状況

第2期 自2019年3月19日 至2019年5月17日
 第3期 自2019年5月18日 至2019年7月17日
 第4期 自2019年7月18日 至2019年9月17日

項 目	第2期	第3期	第4期
(A) 配当等収益	3,712,141円	4,331,820円	4,830,968円
受取配当金	3,715,501	4,333,910	4,832,408
受取利息	—	—	3
支払利息	△ 3,360	△ 2,090	△ 1,443
(B) 有価証券売買損益	3,770,919	12,976,026	9,026,987
売買益	3,789,802	13,042,392	9,074,894
売買損	△ 18,883	△ 66,366	△ 47,907
(C) 信託報酬等	△ 1,258,125	△ 1,563,770	△ 1,796,241
(D) 当期損益金 (A + B + C)	6,224,935	15,744,076	12,061,714
(E) 前期繰越損益金	10,035,478	13,974,644	26,315,624
(F) 追加信託差損益金	4,402,995	9,727,399	14,355,847
(配当等相当額)	(6,259,304)	(10,648,239)	(14,322,118)
(売買損益相当額)	(△ 1,856,309)	(△ 920,840)	(33,729)
(G) 合計 (D + E + F)	20,663,408	39,446,119	52,733,185
(H) 収益分配金	△ 2,205,988	△ 2,662,880	△ 2,864,202
次期繰越損益金 (G + H)	18,457,420	36,783,239	49,868,983
追加信託差損益金	4,402,995	9,727,399	14,355,847
(配当等相当額)	(6,259,304)	(10,648,239)	(14,322,118)
(売買損益相当額)	(△ 1,856,309)	(△ 920,840)	(33,729)
分配準備積立金	14,054,425	27,055,840	35,513,136

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第2期	第3期	第4期
(a) 経費控除後の配当等収益	3,087,971円	3,940,393円	4,204,783円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	3,136,964	11,803,683	7,856,931
(c) 収益調整金	6,259,304	10,648,239	14,355,847
(d) 分配準備積立金	10,035,478	13,974,644	26,315,624
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	22,519,717	40,366,959	52,733,185
(f) 分配金	2,205,988	2,662,880	2,864,202
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	20,313,729	37,704,079	49,868,983
(h) 受益権総口数	735,329,348□	887,626,796□	954,734,200□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ			
1 万 口 当 り 分 配 金	第 2 期	第 3 期	第 4 期
	30円	30円	30円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

為替ヘッジなし／隔月分配型

設定以来の運用実績

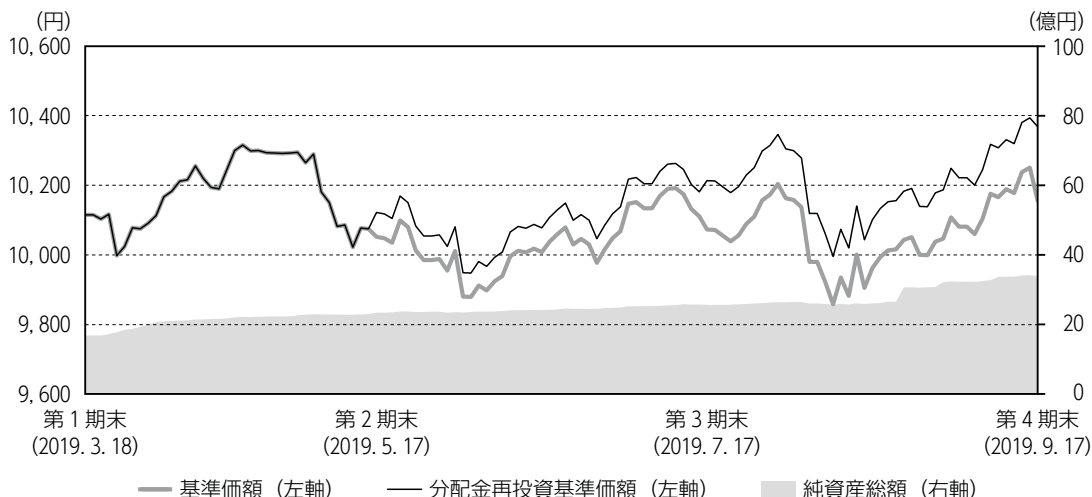
決 算 期	基 準 価 額				公 社 債 組 入 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率	純 資 産 額
	(分 配 落)	税 込 分 配 金	期 騰 落 率	中 率			
	円	円	%		%	%	百万円
1 期末（2019年 3 月18日）	10,115	70	1.9		—	98.5	1,676
2 期末（2019年 5 月17日）	10,052	70	0.1		—	97.5	2,337
3 期末（2019年 7 月17日）	10,073	70	0.9		—	99.4	2,562
4 期末（2019年 9 月17日）	10,156	70	1.5		—	99.5	3,386

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注 2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
(注 3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注 4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第2期首：10,115円

第4期末：10,156円（既払分配金210円）

騰落率：2.5%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

米ドル円為替相場下落がマイナス要因となりましたが、フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）で保有している投資適格社債などの上昇がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）：グローバル・マルチ・ストラテジー・ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

	年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 入 率	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
			騰 落 率		
第 2 期		円	%	%	%
	(期 首) 2019年 3 月18日	10, 115	—	—	98. 5
	3 月末	10, 091	△ 0. 2	—	96. 4
	4 月末	10, 265	1. 5	—	98. 3
第 3 期	(期 末) 2019年 5 月17日	10, 122	0. 1	—	97. 5
	(期 首) 2019年 5 月17日	10, 052	—	—	97. 5
	5 月末	10, 011	△ 0. 4	—	99. 8
	6 月末	10, 048	△ 0. 0	—	99. 3
第 4 期	(期 末) 2019年 7 月17日	10, 143	0. 9	—	99. 4
	(期 首) 2019年 7 月17日	10, 073	—	—	99. 4
	7 月末	10, 163	0. 9	—	99. 0
	8 月末	10, 108	0. 3	—	99. 5
第 4 期	(期 末) 2019年 9 月17日	10, 226	1. 5	—	99. 5

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2019. 3. 19 ～ 2019. 9. 17）

■海外金融市況

海外金融市場では、債券市場、株式市場ともに堅調な展開となりました。

海外株式市場は、当作成期首より、米中貿易摩擦の長期化懸念などから下落基調で始まりしました。しかし2019年6月以降は、米国の緩和的な金融政策などを好感して反発しました。また、米国企業の好調な業績や米中通商協議の進展期待なども支援材料となりました。

海外債券市場は、金利がおおむね低下（債券価格は上昇）しました。米国の製造業を中心とした景気悪化懸念の強まりにより米国の利下げ継続期待が高まったことなどから、金利は低下基調となりました。

■為替相場

為替市場において、米ドル円は下落しました。

当作成期首より、米ドル円為替相場はおおむね横ばいで始まりしました。2019年5月以降は、米中通商交渉への懸念が高まったことや各国の中央銀行が金融緩和に前向きな姿勢を示したことなどから、対米ドルで円高傾向となりました。8月に入ると、トランプ米国大統領が中国製品に対する関税率を引き上げる方針を示したことなどから市場のリスク回避姿勢が強まり、さらに円高が進みました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資します。フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

当ファンドでは、世界の米ドル建資産（株式、債券、優先証券など）に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。景気サイクルが後半期へと移行していくことなどを背景に、株式と比較して投資適格社債やハイイールド債券等のクレジット性資産を

強気にみております。引き続き、ボトムアップ分析による厳選した銘柄選定を通じて、投資妙味のある銘柄の組み入れに注力してまいります。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性及び資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

（2019. 3. 19 ～ 2019. 9. 17）

■当ファンド

当ファンドは、フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）への投資割合を高位に維持することをめざしました。

■フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れました。高クーポンが享受できる投資適格社債やハイイールド債券などインカム系資産の組入比率を高位に維持しましたが、一方で株式については、景気サイクルが後半期に突入するなど潜在的なリスクを注視しながら、慎重なスタンスとしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性及び資産の安全性に配慮し、現先取引やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第2期	第3期	第4期
	2019年3月19日 ～2019年5月17日	2019年5月18日 ～2019年7月17日	2019年7月18日 ～2019年9月17日
当期分配金(税込み) (円)	70	70	70
対基準価額比率 (%)	0.69	0.69	0.68
当期の収益 (円)	70	70	70
当期の収益以外 (円)	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	240	257	306

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第2期	第3期	第4期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 81.34円	✓ 84.25円	✓ 84.15円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	25.86
(c) 収益調整金	90.03	107.90	152.55
(d) 分配準備積立金	139.39	135.27	113.72
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	310.78	327.43	376.30
(f) 分配金	70.00	70.00	70.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	240.78	257.43	306.30

- (注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資します。フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

当ファンドでは、世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。米国では景気サイクルが後半期に突入したこと、2020年以降のグローバル経済に対する減速懸念が意識されることなどを背景に、投資適格社債やハイイールド債券等のクレジット性資産を強気にみています。引き続き、ボトムアップ分析による厳選した銘柄選定を通じて、投資妙味のある銘柄の組み入れに注力してまいります。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第 2 期～第 4 期 (2019. 3. 19～2019. 9. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	56円	0.553%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,095円です。
(投 信 会 社)	(16)	(0.162)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(38)	(0.378)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	56	0.557	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

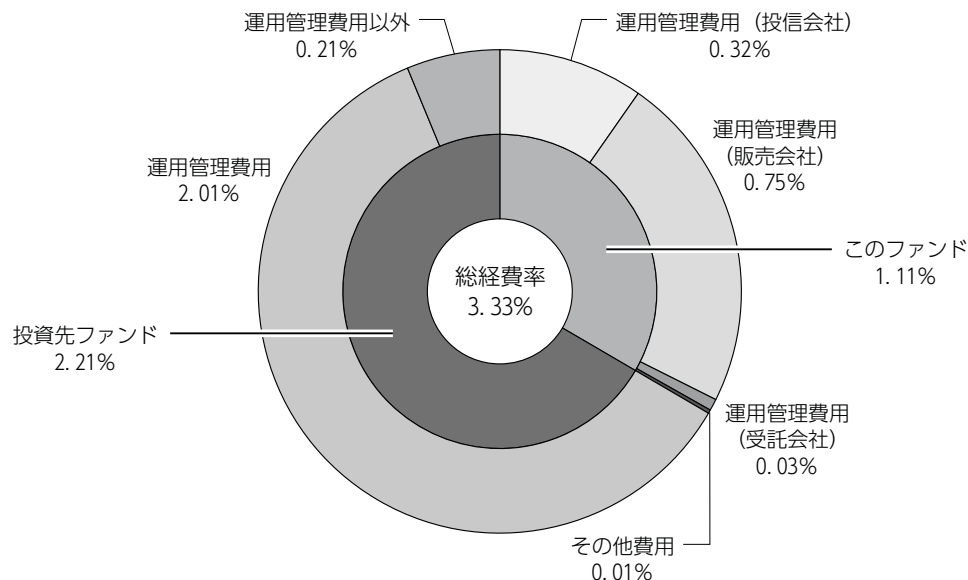
(注 3) 各比率は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第 3 位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1 万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は3.33%です。



総経費率（① + ② + ③）	3.33%
①このファンドの費用の比率	1.11%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	2.01%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.21%

（注1）①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注3）各比率は、年率換算した値です。

（注4）投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

（注5）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

（注6）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

（注7）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし／隔月分配型）

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2019年3月19日から2019年9月17日まで)

決 算 期	第 2 期 ～ 第 4 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	17,816.533044	1,710,456	20.686588	2,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2019年3月19日から2019年9月17日まで)

第 2 期 ～ 第 4 期							
買 付				売 付			
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY NON-HEDGED DISTRIBUTION CLASS (ケイマン諸島)	16,985.204635	1,631,000	96	NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY NON-HEDGED DISTRIBUTION CLASS (ケイマン諸島)	20.686588	2,000	96

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	第 4 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY NON-HEDGED DISTRIBUTION CLASS	34,893.722175	3,370,000	99.5

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 1 期 末	第 4 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	737	737	750

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年9月17日現在

項 目	第 4 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 3,370,000	% 98.7
ダイワ・マネー・マザーファンド	750	0.0
コール・ローン等、その他	44,766	1.3
投資信託財産総額	3,415,517	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年5月17日)、(2019年7月17日)、(2019年9月17日) 現在

項 目	第 2 期末	第 3 期末	第 4 期末
(A) 資産	2,357,834,390円	2,625,587,025円	3,415,517,966円
コール・ローン等	76,764,343	58,909,560	44,766,616
投資信託受益証券（評価額）	2,280,319,342	2,547,926,834	3,370,000,793
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	750,705	750,631	750,557
未収入金	—	18,000,000	—
(B) 負債	20,165,303	63,555,779	29,441,050
未払金	—	36,000,000	—
未払収益分配金	16,278,310	17,803,748	23,338,440
未払解約金	—	5,200,306	615,060
未払信託報酬	3,858,095	4,489,498	5,385,282
その他未払費用	28,898	62,227	102,268
(C) 純資産総額（A－B）	2,337,669,087	2,562,031,246	3,386,076,916
元本	2,325,472,939	2,543,392,684	3,334,062,958
次期繰越損益金	12,196,148	18,638,562	52,013,958
(D) 受益権総口数	2,325,472,939口	2,543,392,684口	3,334,062,958口
1万口当り基準価額（C／D）	10,052円	10,073円	10,156円

*第1期末における元本額は1,657,162,876円、当作成期間（第2期～第4期）中における追加設定元本額は1,739,619,727円、同解約元本額は62,719,645円です。

*第4期末の計算口数当りの純資産額は10,156円です。

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし／隔月分配型）

■損益の状況

	第2期	自2019年3月19日	至2019年5月17日
	第3期	自2019年5月18日	至2019年7月17日
	第4期	自2019年7月18日	至2019年9月17日
項 目	第2期	第3期	第4期
(A) 配当等収益	22,804,615円	25,589,399円	30,951,994円
受取配当金	22,812,513	25,593,848	30,961,083
受取利息	3	19	—
支払利息	△ 7,901	△ 4,468	△ 9,089
(B) 有価証券売買損益	△ 18,177,080	2,233,631	27,076,594
売買益	40,946	2,220,052	27,106,830
売買損	△ 18,218,026	13,579	△ 30,236
(C) 信託報酬等	△ 3,887,254	△ 4,523,003	△ 5,425,400
(D) 当期繰越損益金 (A + B + C)	740,281	23,300,027	52,603,188
(E) 前期繰越損益金	32,416,632	16,566,269	21,995,058
(F) 追加信託差損益金	△ 4,682,455	△ 3,423,986	754,152
(配当等相当額)	(20,938,496)	(27,444,169)	(50,864,096)
(売買損益相当額)	(△ 25,620,951)	(△ 30,868,155)	(△ 50,109,944)
(G) 合計 (D + E + F)	28,474,458	36,442,310	75,352,398
(H) 収益分配金	△ 16,278,310	△ 17,803,748	△ 23,338,440
次期繰越損益金 (G + H)	12,196,148	18,638,562	52,013,958
追加信託差損益金	△ 4,682,455	△ 3,423,986	754,152
(配当等相当額)	(20,938,496)	(27,444,169)	(50,864,096)
(売買損益相当額)	(△ 25,620,951)	(△ 30,868,155)	(△ 50,109,944)
分配準備積立金	35,055,604	38,032,676	51,259,806
繰越損益金	△ 18,177,001	△ 15,970,128	—

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第2期	第3期	第4期
(a) 経費控除後の配当等収益	18,917,282円	21,429,513円	28,058,013円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	8,623,901
(c) 収益調整金	20,938,496	27,444,169	50,864,096
(d) 分配準備積立金	32,416,632	34,406,911	37,916,332
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	72,272,410	83,280,593	125,462,342
(f) 分配金	16,278,310	17,803,748	23,338,440
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	55,994,100	65,476,845	102,123,902
(h) 受益権総口数	2,325,472,939□	2,543,392,684□	3,334,062,958□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ			
1 万 口 当 り 分 配 金	第 2 期	第 3 期	第 4 期
	70円	70円	70円

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

為替ヘッジあり／資産成長型

設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額				公 社 組 比	債 入 率	投 資 組 入	信 託 証 比	純 資 産 額
	(分 配 落)	税 込 分 配	み 金	期 騰 落 率					
	円		円	%		%		%	百万円
1 期末（2019年 3 月18日）	10, 290		0	2. 9		—		99. 2	344
2 期末（2019年 9 月17日）	10, 729		0	4. 3		—		99. 4	835

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注 2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
(注 3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注 4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：10,290円

期末：10,729円（分配金0円）

騰落率：4.3%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）で保有している投資適格社債などの上昇がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）：グローバル・マルチ・ストラテジー・ヌビーン・エヌ・ダブリュ・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／資産成長型）

年 月 日	基 準 価 額		公 社 組 比	債 入 率	投 資 受 組	資 益 入	信 証 比	託 券 率
		騰 落 率						
(期 首) 2019年 3 月18日	円 10, 290	% —		% —				% 99. 2
3 月末	10, 347	0. 6		—				91. 9
4 月末	10, 421	1. 3		—				99. 3
5 月末	10, 351	0. 6		—				99. 0
6 月末	10, 556	2. 6		—				98. 7
7 月末	10, 639	3. 4		—				99. 2
8 月末	10, 780	4. 8		—				96. 6
(期 末) 2019年 9 月17日	10, 729	4. 3		—				99. 4

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2019. 3. 19 ～ 2019. 9. 17）

■海外金融市況

海外金融市場では、債券市場、株式市場ともに堅調な展開となりました。

海外株式市場は、当作成期首より、米中貿易摩擦の長期化懸念などから下落基調で始まりまし
た。しかし2019年6月以降は、米国の緩和的な金融政策などを好感して反発しました。また、米国
企業の好調な業績や米中通商協議の進展期待なども支援材料となりました。

海外債券市場は、金利がおおむね低下（債券価格は上昇）しました。米国の製造業を中心とした
景気悪化懸念の強まりにより米国の利下げ継続期待が高まったことなどから、金利は低下基調とな
りました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ
投資します。フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）への投資割合を高位に維持
することを基本とします。

■フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

当ファンドでは、世界の米ドル建資産（株式、債券、優先証券など）に投資を行い、高水準のイン
カムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した
収益の確保をめざします。アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する
証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。景気サイクルが後半期へと移行して
いくことなどを背景に、株式と比較して投資適格社債やハイイールド債券等のクレジット性資産を
強気にみております。引き続き、ボトムアップ分析による厳選した銘柄選定を通じて、投資妙味の
ある銘柄の組み入れに注力してまいります。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

（2019. 3. 19 ～ 2019. 9. 17）

■当ファンド

当ファンドは、フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）への投資割合を高位に維持することをめざしました。

■フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れました。高クーポンが享受できる投資適格社債やハイイールド債券などインカム系資産の組入比率を高位に維持しましたが、一方で株式については、景気サイクルが後半期に突入するなど潜在的なリスクを注視しながら、慎重なスタンスとしました。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、現先取引やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期は、基準価額の水準等を勘案し、収益分配を見送らせていただきました。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当期	
	2019年3月19日 ～2019年9月17日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	729

- （注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- （注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- （注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

当ファンド

フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資します。フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

当ファンドでは、世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。米国では景気サイクルが後半期に突入したこと、2020年以降のグローバル経済に対する減速懸念が意識されることなどを背景に、投資適格社債やハイイールド債券

等のクレジット性資産を強気にみています。引き続き、ボトムアップ分析による厳選した銘柄選定を通じて、投資妙味のある銘柄の組み入れに注力してまいります。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2019. 3. 19～2019. 9. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	58円	0.553%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,526円です。
(投 信 会 社)	(17)	(0.162)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(40)	(0.378)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	59	0.557	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

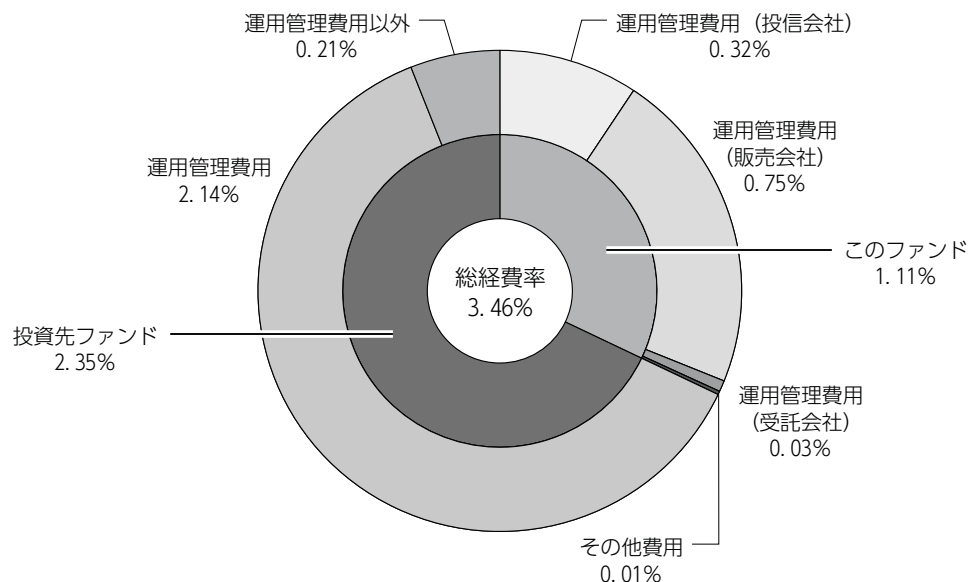
(注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は3.46%です。



総経費率（① + ② + ③）	3.46%
①このファンドの費用の比率	1.11%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	2.14%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.21%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／資産成長型）

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2019年3月19日から2019年9月17日まで)

	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
外国 (邦貨建)	4,798.07296	470,639	—	—

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2019年3月19日から2019年9月17日まで)

当 期					期 末			
買 付					売 付			
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価		銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千□	千円	円			千□	千円	円
NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY HEDGED DISTRIBUTION CLASS (ケイマン諸島)	4,699.965375	461,000	98					

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	当 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
	千□	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY HEDGED DISTRIBUTION CLASS	8,348.074899	830,867	99.4

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	95	95	96

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

項 目	2019年 9月17日現在	
	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	830,867	99.0
ダイワ・マネー・マザーファンド	96	0.0
コール・ローン等、その他	8,017	1.0
投資信託財産総額	838,981	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年 9月17日現在	
項 目	当 期 末
(A) 資産	838,981,655円
コール・ローン等	8,017,514
投資信託受益証券（評価額）	830,867,198
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	96,943
(B) 負債	3,415,061
未払信託報酬	3,389,889
その他未払費用	25,172
(C) 純資産総額（A－B）	835,566,594
元本	778,781,801
次期繰越損益金	56,784,793
(D) 受益権総口数	778,781,801口
1万口当り基準価額（C／D）	10,729円

* 期首における元本額は334,892,995円、当作成期間中における追加設定元本額は445,911,237円、同解約元本額は2,022,431円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,729円です。

■損益の状況

当期 自2019年 3月19日 至2019年 9月17日	
項 目	当 期
(A) 配当等収益	9,620,030円
受取配当金	9,626,195
支払利息	△ 6,165
(B) 有価証券売買損益	18,414,931
売買益	18,469,022
売買損	△ 54,091
(C) 信託報酬等	△ 3,415,263
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	24,619,698
(E) 前期繰越損益金	7,499,959
(F) 追加信託差損益金	24,665,136
（配当等相当額）	(13,321,283)
（売買損益相当額）	(11,343,853)
(G) 合計（D＋E＋F）	56,784,793
次期繰越損益金（G）	56,784,793
追加信託差損益金	24,665,136
（配当等相当額）	(13,321,283)
（売買損益相当額）	(11,343,853)
分配準備積立金	32,119,657

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	8,448,253円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	16,171,445
(c) 収益調整金	24,665,136
(d) 分配準備積立金	7,499,959
(e) 当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	56,784,793
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額（e－f）	56,784,793
(h) 受益権総口数	778,781,801口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

為替ヘッジなし／資産成長型

設定以来の運用実績

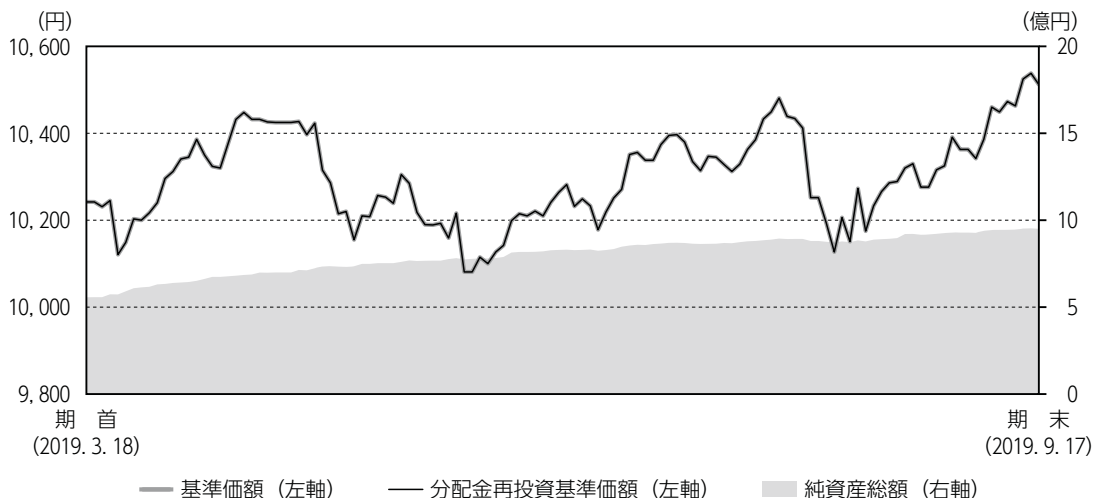
決 算 期	基 準 価 額				公 社 組 比	債 入 率	投 資 組 入	信 託 証 比	純 資 産 額
	(分 配 落)	税 込 分 配	み 金	期 騰 落 率					
	円		円	%		%		%	百万円
1 期末（2019年 3 月18日）	10,242		0	2.4		—		95.9	556
2 期末（2019年 9 月17日）	10,512		0	2.6		—		99.4	950

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注 2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
(注 3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注 4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期 首：10,242円

期 末：10,512円（分配金0円）

騰落率：2.6%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

米ドル円為替相場下落がマイナス要因となりましたが、フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）で保有している投資適格社債などの上昇がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）：グローバル・マルチ・ストラテジー・ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし／資産成長型）

年 月 日	基 準 価 額		公 社 組 比	債 入 率	投 資 受 組	資 益 入	信 証 比	託 券 率
		騰 落 率						
(期 首) 2019年 3 月18日	円 10, 242	% —		% —				% 95. 9
3 月末	10, 217	△ 0. 2		—				99. 1
4 月末	10, 397	1. 5		—				99. 5
5 月末	10, 216	△ 0. 3		—				99. 3
6 月末	10, 251	0. 1		—				99. 1
7 月末	10, 439	1. 9		—				99. 4
8 月末	10, 391	1. 5		—				99. 5
(期 末) 2019年 9 月17日	10, 512	2. 6		—				99. 4

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2019. 3. 19 ～ 2019. 9. 17）

■海外金融市況

海外金融市場では、債券市場、株式市場ともに堅調な展開となりました。

海外株式市場は、当作成期首より、米中貿易摩擦の長期化懸念などから下落基調で始まりしました。しかし2019年6月以降は、米国の緩和的な金融政策などを好感して反発しました。また、米国企業の好調な業績や米中通商協議の進展期待なども支援材料となりました。

海外債券市場は、金利がおおむね低下（債券価格は上昇）しました。米国の製造業を中心とした景気悪化懸念の強まりにより米国の利下げ継続期待が高まったことなどから、金利は低下基調となりました。

■為替相場

為替市場において、米ドル円は下落しました。

当作成期首より、米ドル円為替相場はおおむね横ばいで始まりしました。2019年5月以降は、米中通商交渉への懸念が高まったことや各国の中央銀行が金融緩和に前向きな姿勢を示したことなどから、対米ドルで円高傾向となりました。8月に入ると、トランプ米国大統領が中国製品に対する関税率を引き上げる方針を示したことなどから市場のリスク回避姿勢が強まり、さらに円高が進みました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資します。フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

当ファンドでは、世界の米ドル建資産（株式、債券、優先証券など）に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。景気サイクルが後半期へと移行していくことなどを背景に、株式と比較して投資適格社債やハイイールド債券等のクレジット性資産を強気にみております。引き続き、ボトムアップ分析による厳選した銘柄選定を通じて、投資妙味の

ある銘柄の組み入れに注力してまいります。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

（2019. 3. 19 ～ 2019. 9. 17）

■当ファンド

当ファンドは、フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）への投資割合を高位に維持することをめざしました。

■フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れました。高クーポンが享受できる投資適格社債やハイイールド債券などインカム系資産の組入比率を高位に維持しましたが、一方で株式については、景気サイクルが後半期に突入するなど潜在的なリスクを注視しながら、慎重なスタンスとしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、現先取引やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期は、基準価額の水準等を勘案し、収益分配を見送らせていただきました。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	当 期	
	2019年3月19日 ～2019年9月17日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	615

- （注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売却等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- （注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- （注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

当ファンド

フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資します。フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

当ファンドでは、世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。米国では景気サイクルが後半期に突入したこと、2020年以降のグ

ローバル経済に対する減速懸念が意識されることなどを背景に、投資適格社債やハイイールド債券等のクレジット性資産を強気にみています。引き続き、ボトムアップ分析による厳選した銘柄選定を通じて、投資妙味のある銘柄の組み入れに注力してまいります。

ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1 万口当りの費用の明細

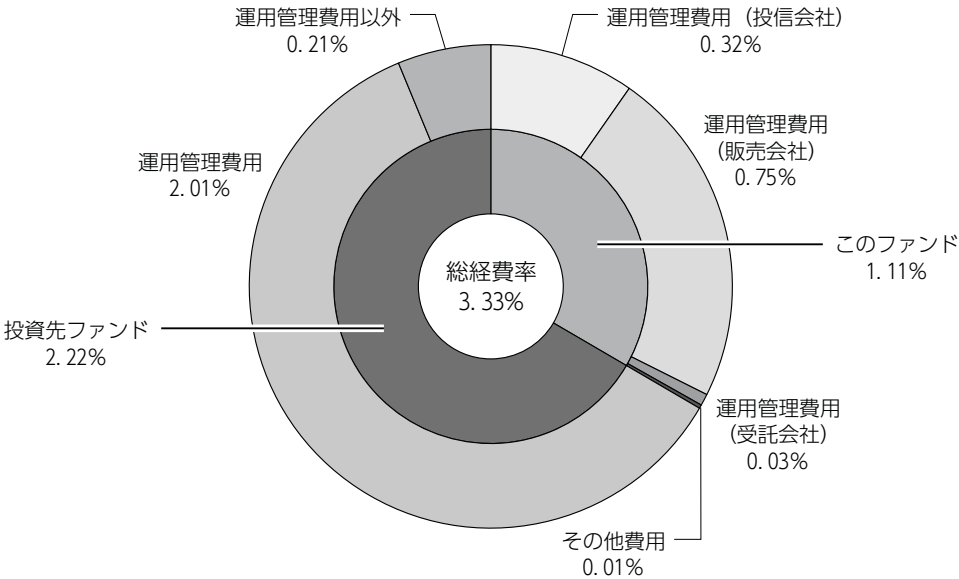
項 目	当 期 (2019. 3. 19～2019. 9. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	57円	0.553%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,300円です。
(投 信 会 社)	(17)	(0.162)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(39)	(0.378)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	57	0.557	

- (注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
- (注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
- (注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。
- (注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は3.33%です。



総経費率（①＋②＋③）	3.33%
①このファンドの費用の比率	1.11%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	2.01%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.21%

（注 1）①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注 2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注 3）各比率は、年率換算した値です。
（注 4）投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注 5）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注 6）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注 7）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし／資産成長型）

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2019年3月19日から2019年9月17日まで)

	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
外国 (邦貨建)	4, 248. 96236	408, 315	—	—

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2019年3月19日から2019年9月17日まで)

当 期					期 末			
買 付					売 付			
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価		銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千□	千円	円			千□	千円	円
NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY NON-HEDGED DISTRIBUTION CLASS (ケイマン諸島)	3, 983. 946242	383, 000	96					

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	当 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
	千□	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY NON-HEDGED DISTRIBUTION CLASS	9, 782. 879689	944, 820	99. 4

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	337	337	343

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

項 目	2019年 9月17日現在	
	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	944, 820	98. 9
ダイワ・マネー・マザーファンド	343	0. 0
コール・ローン等、その他	10, 099	1. 1
投資信託財産総額	955, 264	100. 0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年 9月17日現在	
項 目	当 期 末
(A) 資産	955, 264, 114円
コール・ローン等	10, 099, 580
投資信託受益証券（評価額）	944, 820, 737
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	343, 797
(B) 負債	4, 443, 284
未払信託報酬	4, 410, 506
その他未払費用	32, 778
(C) 純資産総額（A－B）	950, 820, 830
元本	904, 505, 082
次期繰越損益金	46, 315, 748
(D) 受益権総口数	904, 505, 082口
1 万口当り基準価額（C／D）	10, 512円

* 期首における元本額は543, 731, 358円、当作成期間中における追加設定元本額は375, 672, 588円、同解約元本額は14, 898, 864円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10, 512円です。

■損益の状況

当期 自2019年 3月19日 至2019年 9月17日	
項 目	当 期
(A) 配当等収益	25, 187, 357円
受取配当金	25, 193, 053
受取利息	6
支払利息	△ 5, 702
(B) 有価証券売買損益	2, 318, 288
売買益	2, 350, 054
売買損	△ 31, 766
(C) 信託報酬等	△ 4, 443, 434
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	23, 062, 211
(E) 前期繰越損益金	15, 206, 701
(F) 追加信託差損益金	8, 046, 836
（配当等相当額）	（ 17, 401, 698）
（売買損益相当額）	（△ 9, 354, 862）
(G) 合計（D＋E＋F）	46, 315, 748
次期繰越損益金（G）	46, 315, 748
追加信託差損益金	8, 046, 836
（配当等相当額）	（ 17, 401, 698）
（売買損益相当額）	（△ 9, 354, 862）
分配準備積立金	38, 268, 912

（注 1）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

（注 2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

（注 3）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	21, 118, 504円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	1, 943, 707
(c) 収益調整金	17, 401, 698
(d) 分配準備積立金	15, 206, 701
(e) 当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	55, 670, 610
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額（e－f）	55, 670, 610
(h) 受益権総口数	904, 505, 082口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

グローバル・マルチ・ストラテジー –ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・
フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス／ヘッジなし・クラス）

当ファンド（NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／隔月分配型）（為替ヘッジなし／隔月分配型）（為替ヘッジあり／資産成長型）（為替ヘッジなし／資産成長型））はケイマン籍の外国投資信託「グローバル・マルチ・ストラテジー–ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス／ヘッジなし・クラス）」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。
（注）2019年9月17日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（米ドル建て）

貸借対照表
2018年12月31日

US\$

資産

現金および現金同等物	786, 902
金融資産（損益通算後の評価額）	164, 365, 179
受益証券買付けに対する未収金	28, 733, 154
受取勘定	2, 179, 368

資産合計

196, 064, 603

負債

金融負債（損益通算後の評価額）	148, 738
支払勘定	5, 679, 111

負債合計（償却可能参加型受益証券の保有者に帰属する純資産を除く）

5, 827, 849

償却可能参加型受益証券の保有者に帰属する純資産

190, 236, 754

損益計算書

2018年12月31日に終了した年度

US\$

投資収益

金融資産（損益通算後の評価額）からの配当収益	511, 130
現金および現金同等物からの受取利息	23, 593
債券（損益通算後の評価額）からの受取利息	1, 286, 298
純外国為替収益	283, 102
金融資産（損益通算後の評価額）からの純損失	(8, 142, 864)

投資損失合計

(6, 038, 741)

費用

受託会社報酬	3, 200
運用会社報酬	160, 021
管理会社報酬	12, 802
保管会社報酬	27, 572
為替運用会社報酬	742
為替計算代理人報酬	345
監査報酬	27, 370
設立費	8, 860
金融商品の減損	—
その他の報酬・費用	7, 048

費用合計

247, 960

営業損失

(6, 286, 701)

金融費用

現金および現金同等物にかかる支払利息	(354)
分配金	(746, 499)

金融費用合計

(746, 853)

償却可能参加型受益証券の保有者に帰属する純資産の減少（税引前）

(7, 033, 554)

源泉徴収税

(147, 530)

償却可能参加型受益証券の保有者に帰属する純資産の減少

(7, 181, 084)

NWQグローバル厳選証券ファンド

(米ドル建て)

投資明細表 2018年12月31日

銘柄名	純資産に 占める 割合 (%)	評価額 (\$)	銘柄名	純資産に 占める 割合 (%)	評価額 (\$)
転換社債			EQUITRANS MIDSTREAM CORP	0.33	632,815
米国			DOWDUPONT INC	0.33	627,884
SEMPRA ENERGY SRE 6 3/4 2021/7/15	1.42	2,699,998	ARES CAPITAL CORP	0.3	580,021
NEXTERA ENERGY NEE 6.123 2019/9/1	0.91	1,735,249	DELTA AIR LINES INC	0.29	555,809
LIBERTY MEDIA LINTA 4 2029/11/15	0.9	1,703,033	ORACLE CORP	0.2	371,513
VISTRA ENERGY CO VST 7 2019/7/1	0.71	1,354,585	SYNCHRONY FINANCIAL	0.18	338,994
WELLS FARGO CO WFC 7 1/2 永久債	0.62	1,171,302	AMERICAN INTERNATIONAL GROUP	0.17	332,191
LIBERTY MEDIA LINTA 3 3/4 2030/2/15	0.28	541,202	EQT CORP	0.17	331,720
BANK OF AMER CRP BAC 7 1/4 永久債	0.28	534,157	CNA FINANCIAL CORP	0.17	314,551
株式			投資適格社債		
ドイツ			ベルギー		
SIEMENS AG-SPONS ADR	0.34	645,097	ANHEUSER-BUSCH ABIBB 4.9 2046/2/1	0.5	952,275
英国			カナダ		
GLAXOSMITHKLINE PLC-SPON ADR	1	1,907,534	EMERA INC EMACN 6 3/4 2076/6/15	1.33	2,521,004
ASTRAZENECA PLC-SPONS ADR	0.75	1,429,184	TRANSCANADA TRUS TRPCN 5 7/8 2076/8/15	0.63	1,207,663
KINGFISHER PLC-SPONS ADR	0.29	545,222	フランス		
米国			ARCELOMITTAL MTNA 7 2039/10/15	0.37	697,529
FIRSTENERGY CORP	1.27	2,407,758	ペルー		
BROADCOM INC	1.14	2,168,868	SOUTHERN COPPER SCCO 5 7/8 2045/4/23	0.4	752,225
EVERGY INC	1.01	1,919,777	米国		
MGM GROWTH PROPERTIES LLC-A	0.81	1,545,037	VIACOM INC VIA 6 7/8 2036/4/30	2.45	4,657,846
CYPRESS SEMICONDUCTOR CORP	0.75	1,435,958	HP ENTERPRISE HPE 6.35 2045/10/15	1.79	3,400,338
ENTERPRISE PRODUCTS PARTNERS	0.67	1,268,305	NORDSTROM INC JWN 5 2044/1/15	1.48	2,822,930
GILEAD SCIENCES INC	0.5	954,054	MCDONALD'S CORP MCD 4 7/8 2045/12/9	1.28	2,442,234
APARTMENT INVT & MGMT CO -A	0.34	640,666	EQT MIDSTREAM PT EQM 5 1/2 2028/7/15	1.24	2,352,598

銘柄名	純資産に 占める 割合(%)	評価額(\$)
SELECT INCOME RE SIR 4 1/2 2025/2/1	1.13	2,145,651
GENERAL MOTORS C GM 6.6 2036/4/1	1.01	1,913,947
PHILLIPS 66 PSX 4.65 2034/11/15	1	1,908,570
EQT MIDSTREAM PT EQM 6 1/2 2048/7/15	0.93	1,764,653
HCA INC HCA 6 1/2 2020/2/15	0.9	1,711,437
CISCO SYSTEMS CSCO 3 2022/6/15	0.73	1,380,658
TECH DATA CORP TECD 4.95 2027/2/15	0.67	1,273,540
LIBERTY MUTUAL LIBMUT 7.8 2037/3/15 - 144A	0.53	1,005,140
SEAGATE HDD CAYM STX 4 7/8 2027/6/1	0.48	920,357
RAYMOND JAMES RJF 4.95 2046/7/15	0.21	395,296
ハイイールド債券		
カナダ		
AUTOMATION TOOLI ATACN 6 1/2 2023/6/15 - 144A	0.76	1,444,793
FIRST QUANTUM FMCN 7 2021/2/15 - 144A	0.74	1,410,553
オランダ		
ALTICE FINANCING ALTICE 7 1/2 2026/5/15 - 144A	0.4	760,292
米国		
BLUE CUBE SPINCO OLN 9 3/4 2023/10/15	2.48	4,723,082
XPO LOGISTICS XPO 6 1/2 2022/6/15 - 144A	2.16	4,115,031
NAVIENT CORP NAVI 8 2020/3/25	1.87	3,565,854
TR OP / TR FIN TRINSE 5 3/8 2025/9/1 - 144A	1.77	3,361,299
DYNEGY INC VST 7 5/8 2024/11/1	1.65	3,129,581
ALLY FINANCIAL ALLY 8 2020/3/15	1.58	3,000,780
SEALED AIR CORP SEE 6 7/8 2033/7/15 - 144A	1.24	2,352,644
ENVIVA PRTNRS EVA 8 1/2 2021/11/1	1.12	2,121,901

銘柄名	純資産に 占める 割合(%)	評価額(\$)
COOPER-STANDARD CPS 5 5/8 2026/11/15 - 144A	0.95	1,802,826
DONNELLEY FIN DFIN 8 1/4 2024/10/15	0.93	1,773,477
ITRON INC ITRI 5 2026/1/15 - 144A	0.92	1,741,415
DISH DBS CORP DISH 6 3/4 2021/6/1	0.89	1,698,197
NEXSTAR BROADC NXST 5 5/8 2024/8/1 - 144A	0.88	1,683,077
DANA FIN LUX SAR DAN 6 1/2 2026/6/1 - 144A	0.88	1,664,846
L BRANDS INC LB 6 7/8 2035/11/1	0.8	1,528,415
TEREX CORP TEX 5 5/8 2025/2/1 - 144A	0.79	1,508,842
GCI LLC GCILLC 6 7/8 2025/4/15	0.79	1,506,585
KENNEDY-WILSON KW 5 7/8 2024/4/1	0.79	1,501,137
CIT GROUP INC CIT 6 1/8 2028/3/9	0.75	1,424,596
CENTURYLINK INC CTL 7.65 2042/3/15	0.75	1,422,455
DANA FIN LUX SAR DAN 5 3/4 2025/4/15 - 144A	0.7	1,327,076
ALBERTSONS COS ALBLLC 6 5/8 2024/6/15	0.66	1,260,452
US CELLULAR CORP USM 7 1/4 2063/12/1	0.64	1,225,109
AMER AXLE & MFG AXL 6 1/4 2025/4/1	0.62	1,187,047
STEVENS HOLDING AIMC 6 1/8 2026/10/1 - 144A	0.61	1,154,345
VIASAT INC VSAT 5 5/8 2025/9/15 - 144A	0.61	1,151,264
LIBERTY MEDIA LINTA 8 1/2 2029/7/15	0.55	1,047,812
DEAN FOODS CO DF 6 1/2 2023/3/15 - 144A	0.54	1,027,471
KEMPER KMPR 7 3/8 2054/2/27	0.5	948,633
DISH DBS CORP DISH 7 3/4 2026/7/1	0.48	912,714
VERSUM MATERIALS VSM 5 1/2 2024/9/30 - 144A	0.48	908,712
AK STEEL CORP AKS 7 2027/3/15	0.48	903,808

NWQグローバル厳選証券ファンド

銘柄名	純資産に 占める 割合(%)	評価額(\$)	銘柄名	純資産に 占める 割合(%)	評価額(\$)
US STEEL CORP X 6 7/8 2025/8/15	0.47	897,021	PNC FINANCIAL PNC 6 3/4 永久債	0.85	1,624,390
GREYSTAR REAL ES GRSTAR 5 3/4 2025/12/1 - 144A	0.45	862,483	WELLS FARGO CO WFC 5 7/8 永久債	0.8	1,516,776
UNIVAR USA INC UNIVAR 6 3/4 2023/7/15 - 144A	0.44	845,347	LADENBURG THALMA LTS 8 永久債	0.61	1,157,140
CVR PARTNERS LP UAN 9 1/4 2023/6/15 - 144A	0.43	811,990	CHS INC CHSINC 7.1 永久債	0.59	1,116,138
US STEEL CORP X 6 1/4 2026/3/15	0.38	717,198	CITIGROUP INC C 7 1/8 永久債	0.57	1,088,023
AMER AXLE & MFG AXL 6 1/2 2027/4/1	0.34	640,085	CAPITAL ONE FINL COF 5.55 永久債	0.52	995,365
RITE AID CORP RAD 6 1/8 2023/4/1 - 144A	0.33	634,351	MORGAN STANLEY MS 7 1/8 永久債	0.52	986,876
HEALTHSOUTH CORP EHC 5 3/4 2024/11/1	0.32	606,843	CIT GROUP INC CIT 5.8 永久債	0.49	933,490
AK STEEL CORP AKS 7 1/2 2023/7/15	0.27	515,321	ENSTAR GROUP LTD ESGR 7 永久債	0.47	887,585
RACKSPACE HOSTIN RAX 8 5/8 2024/11/15 - 144A	0.24	456,413	CHS INC CHSINC 6 3/4 永久債	0.46	883,647
RR DONNELLEY RRD 6 1/2 2023/11/15	0.21	399,702	LAND O'LAKES INC LLAKES 7 永久債 - 144A	0.44	834,275
NATL GEN HLDG NGHC 7 5/8 2055/9/15	0.2	371,017	HUNTINGTON BANCS HBAN 6 1/4 永久債	0.42	806,755
CNF INC CNW 6.7 2034/5/1	0.18	345,660	GEN MOTORS FIN GM 6 1/2 永久債	0.42	800,589
TEMPUR SEALY INT TPX 5 1/2 2026/6/15	0.16	298,387	ZIONS BANCORP ZION 7.2 永久債	0.42	798,657
QORVO INC QRVO 5 1/2 2026/7/15 - 144A	0.13	245,901	CHS INC CHSINC 7 7/8 永久債	0.41	783,987
JELD-WEN INC JELD 4 7/8 2027/12/15 - 144A	0.12	233,778	LAND O'LAKES INC LLAKES 7 1/4 永久債 - 144A	0.39	732,446
RESIDEO FUNDING REZI 6 1/8 2026/11/1 - 144A	0.02	35,025	VEREIT INC VER 6.7 永久債	0.37	708,104
優先証券			DIGITAL REALTY DLR 7 3/8 永久債	0.33	629,246
英国			GOLDMAN SACHS GP GS 5.3 永久債	0.27	520,740
LLOYDS BANK PLC LLOYDS 12 永久債 - 144A	0.31	589,210	BANK OF AMER CRP BAC 6.3 永久債	0.2	389,498
米国			DIGITAL REALTY DLR 6 5/8 永久債	0.2	378,727
GMAC CAP TR I ALLY 8.40113 2040/2/15	1.14	2,169,847	MORGAN STANLEY MS 6 3/8 永久債	0.16	296,340
BANK OF AMER CRP BAC 6 1/2 永久債	1.07	2,030,948	NATIONAL STORAGE NSA 6 永久債	0.14	264,116
CITIGROUP INC C 6 1/4 永久債	1.02	1,944,804	CAPITAL ONE FINL COF 6.7 永久債	0.11	209,099
JPMORGAN CHASE JPM 6 3/4 永久債	1.02	1,943,720	CITIGROUP INC C 5.8 永久債	0.1	196,669

＜補足情報＞

当ファンド（NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／隔月分配型）／（為替ヘッジなし／隔月分配型）／（為替ヘッジあり／資産成長型）／（為替ヘッジなし／資産成長型））が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2018年12月10日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、2019年9月17日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄

2019年3月19日～2019年9月17日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

下記は、2019年9月17日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンド（71,912,455千口）の内容です。

国内その他有価証券

	2019年9月17日現在	
	評 価 額	比 率
	千円	%
国内短期社債等	999,999	<1.4>

（注1）< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

（注2）評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ・マネー・マザーファンド

運用報告書 第14期（決算日 2018年12月10日）

（作成対象期間 2017年12月12日～2018年12月10日）

ダイワ・マネー・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
株式組入制限	純資産総額の30%以下

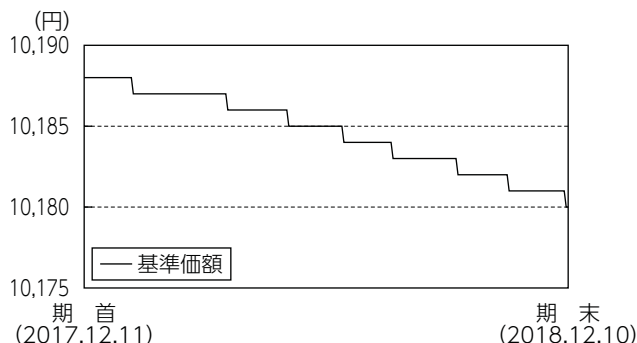
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率		
(期首)2017年12月11日	円	%	%
12月末	10,188	—	—
2018年 1 月末	10,187	△0.0	—
2 月末	10,187	△0.0	0.5
3 月末	10,186	△0.0	—
4 月末	10,186	△0.0	—
5 月末	10,185	△0.0	—
6 月末	10,184	△0.0	—
7 月末	10,184	△0.0	—
8 月末	10,183	△0.0	—
9 月末	10,182	△0.1	—
10月末	10,181	△0.1	—
11月末	10,181	△0.1	—
(期末)2018年12月10日	10,180	△0.1	—

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行なっており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,188円 期末：10,180円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

マイナス金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期首より、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持し、2018年7月には金融緩和継続のための枠組み強化を決定しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行います。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性及資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	1 (1)
合 計	1

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

(1) 公 社 債

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

		買 付 額	売 付 額
国 内	国債証券	千円 890,004	千円 — (890,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

(2) その他有価証券

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

		買 付 額	売 付 額
国 内	国内短期社債等	千円 245,999,587	千円 245,999,594 (—)

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は償還による減少分、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネー・マザーファンド

■主要な売買銘柄
公 社 債

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

当 期			期 末		
買 付		金 額	売 付		金 額
銘柄	柄		銘柄	柄	
757 国庫短期証券	2018/8/13	400,002			千円
731 国庫短期証券	2018/7/10	280,000			
723 国庫短期証券	2018/3/5	210,001			

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
国内その他有価証券

	当 期		期 末	
	評 価	額 比	率	
	千円	%		
国内短期社債等	999,997	<1.2>		

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年12月10日現在

項 目	当 期		期 末	
	評 価	額 比	率	
	千円	%		
コール・ローン等、その他	80,270,040	100.0		
投資信託財産総額	80,270,040	100.0		

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年12月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	80,270,040,211円
コール・ローン等	79,270,042,938
現先取引(その他有価証券)	999,997,273
(B) 負債	241,522,286
未払解約金	240,343,000
その他未払費用	1,179,286
(C) 純資産総額(A－B)	80,028,517,925
元本	78,610,288,449
次期繰越損益金	1,418,229,476
(D) 受益権総口数	78,610,288,449口
1万口当り基準価額(C／D)	10,180円

* 期首における元本額は68,390,547,168円、当作成期間中における追加設定元本額は259,276,972,092円、同解約元本額は249,057,230,811円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・グローバルＩＯＴ関連株ファンド－ＡＩ新時代－（為替ヘッジあり）977,694円、ダイワ・グローバルＩＯＴ関連株ファンド－ＡＩ新時代－（為替ヘッジなし）977,694円、ダイワＦＥグローバル・バリュー（為替ヘッジあり）98,069円、ダイワＦＥグローバル・バリュー（為替ヘッジなし）98,069円、NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり）49,107円、NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし）49,107円、ダイワ／＊R I C I ＊

コモディティ・ファンド5,024,392円、ＵＳ債券ＮＢ戦略ファンド（為替ヘッジあり／年1回決算型）1,676円、ＵＳ債券ＮＢ戦略ファンド（為替ヘッジなし／年1回決算型）1,330円、スマート・アロケーション・Ｄガード53,768,983円、ＮＢストラテジック・インカム・ファンド＜クラブ＞米ドルコース981円、ＮＢストラテジック・インカム・ファンド＜クラブ＞円コース981円、ＮＢストラテジック・インカム・ファンド＜クラブ＞世界通貨分散コース981円、堅実バランスファンド－ハジメの一步－ 327,110,605円、NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／隔月分配型）180,729円、NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし／隔月分配型）737,649円、NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／資産成長型）95,276円、NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし／資産成長型）337,885円、ＤＣダイワ・マネー・ポートフォリオ3,941,012,171円、ダイワファンドラップ コモディティセレクト317,088,630円、ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）ートリプルリターンズ－ 日本円・コース（毎月分配型）132,757円、ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）ートリプルリターンズ－ 豪ドル・コース（毎月分配型）643,132円、ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）ートリプルリターンズ－ ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）4,401,613円、ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）ートリプルリターンズ－ 米ドル・コース（毎月分配型）12,784円、ダイワ／フィデリティ北米株式ファンド－パラダイムシフト－9,853,995円、低リスク型アロケーションファンドⅡ（適格機関投資家専用）13,743,005,794円、ブルベア・マネー・ポートフォリオⅤ18,757,636,566円、ブル3倍日本株ポートフォリオⅤ 39,796,042,643円、ベア2倍日本株ポートフォリオⅤ 1,364,716,363円、ダイワＦＥグローバル・バリュー株ファンド（ダイワＳＭＡ専用）4,090,590円、ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）155,317円、ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）日本円・コース（毎月分配型）38,024円、ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）米ドル・コース（毎月分配型）4,380円、ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）豪ドル・コース（毎月分配型）22,592円、ダイワ／アムンディ食糧増産関連ファンド164,735円、ダイワ日本リート・ファンド・マネー・ポートフォリオ121,376,415円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース）33,689円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（通貨αコース）96,254円、ダイワ・ダブルバンス－ フォンド（Ｄガード付／部分為替ヘッジあり）145,491,182円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド－インフラ革命－（為替ヘッジあり）988,283円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド－インフラ革命－（為替ヘッジなし）4,926,018円、ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型）米ドルコース285,029円、ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型）日本円コース144,570円、ダイワ米国MLPファンド（毎月分配型）通貨αコース677,850円、ダイワ英国高配当株ツインα（毎月分配型）98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ1,747,902円、ＤＣスマート・アロケーション・Ｄガード4,510,003円、ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）南アフリカ・ランド・コース（毎月分配型）1,097円、ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）トルコ・リラ・コース（毎月分配型）2,690円、ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）通貨セレクト・コース（毎月分配型）1,350円、ダイワ・オーストラリア高配当株α（毎月分配型）株式αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α（毎月分配型）通貨αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α（毎月分配型）株式&通貨ツインαコース982,029円、ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）ートリプルリターンズ－通貨セレクト・コース（毎月分配型）98,174円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,180円です。

■損益の状況

当期 自2017年12月12日 至2018年12月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 53,286,101円
受取利息	18,213
支払利息	△ 53,304,314
(B) その他費用	△ 8,395,849
(C) 当期損益金(A + B)	△ 61,681,950
(D) 前期繰越損益金	1,286,098,991
(E) 解約差損益金	△4,593,187,480
(F) 追加信託差損益金	4,786,999,915
(G) 合計(C + D + E + F)	1,418,229,476
次期繰越損益金(G)	1,418,229,476

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。